

---

# 電波恋愛

野中由希

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

電波恋愛

### 【Nコード】

N4976I

### 【作者名】

野中由希

### 【あらすじ】

世間一般でいう目立たない地味系女子高生。

容姿なんかも人並み以下かもしれない。

そんな地味女子だって人並み以上の素敵な恋ができる。

そんな現役地味系女子高生が綴る恋愛エッセイです。

## 出会いときっかけ

私は普段はおとなしく、全然目立たない。友達もそんなにいない。所謂世間で言う地味系女子である。

学校に行っても友達もいないし楽しくない。そんな私の生きる唯一の楽しみはオンラインゲームであった。

インターネット上には色々な人がいる。オンラインゲームをやるような人にも色々いるけど、大概は私と同じような境遇の人達なわけですぐに溶け込む事が出来る。

『彼』とはそのオンラインゲームで出会った。

久々にボイスチャット（以下VC）を使い、会話をしていた時である。突然彼から告白された。

その時の私はこのような事は全く予想もしておらず、ただただ驚くばかりだった。そして、その時はちゃんと答えが返せなかった。

それからは何事もなかったかのようにメールやVCを続けた。が、私の心は最早尋常じゃなかった。

そう、あの告白の後に色々と考えている内に彼の事が好きになっていたのだ。何故あの時に…なんて思ったが、過ぎた事を後悔してももう遅い。

私は大いに悩んだ。気持ちを伝えるべきか否か。答えは伝える。

だが、恥ずかしくなかなか思いを伝えられない私は、メール等それとなーくアタックを試みる。が、こういう時の男は何故か鈍感。全く気付いていない様子。

自分がバカらしくなってきたら気を紛らわそうとオンラインゲームを。ログインすると、彼がいた。そして…

「ヒノさん、俺と付き合ってください」

2度目の告白。私は迷う事なく答えを出しました。「はい」と。ちなみにヒノさんとはゲーム内での私のあだ名。以後もちよくちよく出てくると思うので挙げておこう。ゲーム内では日野香穂子又はジム・クロコダイル・クックという名前を使っているのです。私、野中由希と上記の名前が違う件に関してはまたの機会に語るとしよう。

そんなわけで、私達は晴れて恋人同士になったのである。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4976i/>

---

電波恋愛

2010年11月12日17時49分発行